

コミュニティ・スクールへの道 ～はじまりはESD～

秋田県八峰町立八峰中学校 校長 皆川 雅仁

私の職歴は...

学校教育16年＋社会教育15年

○学校で学んだことは...

- ・子どもの背景を知らなければ教育はできない
- ・ほかの誰かに教えてもらった方が効果が上がることも...

○社会教育で学んだことは...

- ・地域には学校の教育活動に関わりたい人がいる
- ・学校は生涯学習成果の交流・還元の良い絶好の場



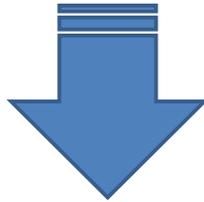
校長になったら「地域とともに歩む学校」を...

初めて校長として赴任した学校は...

複式学級のある小さな小学校

秋田県能代市立鶴形小学校

- 地域住民が学校に誇りをもっていた。
- 地域住民が地域に誇りをもっていた。
- 地域住民は学校(地域)が持続できるか真剣に考えていた！



私のミッションは...

地域の願いを実現するために、
学校の社会的責任を果たす！

よし、ESD(持続可能な開発のための教育)
に取り組もう！

どうやって？

コミュニティー・スクール
がいいかも...

コミュニティ・スクールに取り組もうとした理由は...

- 児童数の減少(34名) → 学校の存続(?!)
- 学区域の過疎化 → 地域活性化の必要性
- 3.11東日本大震災の教訓 → 学校は地域の砦

地域住民の願い

保護者の願い

持続可能な学校及び地域社会の実現

地域住民や子どもたちが共に歩いていくには...

代表者の温度に左右されない仕組み(制度)
の必要性 → **学校運営協議会制度**が有効

コミュニティ・スクールがESD推進に有効と考えたのは...

- 地域の学校に対する期待が大 → 高い関心
- 学校支援の実績が大 → 豊富な経験知
- 狭い学区域 → コミュニケーションが容易
- 地域活性化に対して意欲的 → 参画が容易

鶴形小コミュニティ・スクールの特徴は...



- 学校支援地域本部が設置されていない
- 学校運営協議会委員 = 地域コーディネーター
その名も「鶴の恩返し隊サポーターズ」
(人数は12名)

『ESDを通じて学校が元気になる！
地域が元気になる！』
～ESDセミナー2015(東京)

実践発表のスライド(抜粋)

『ESDを通じて学校が元気になる！地域が元気になる！』—ESDセミナー2015—

「鶴の恩返し隊」出動！

秋田県能代市立鶴形小学校

鶴形小はここ！



JR奥羽本線「鶴形駅」から
歩いて1分! のところにあります。

～まるで、駅と一体化しているみたい～



鶴形駅の清掃

地域の老人クラブが駅をきれいにする活動を実施
+ 鶴形小児童(平成8年～)



保護者や地域の皆さん

協力



鶴形小学校の授業や学校行事





もっと地域の皆さんの
のためになる活動
をしたい！



地域の皆さんに
恩返しをしたい！



地域をきれいに
したい！

「鶴の恩返し隊」の結成！



平成25年4月



鶴形まるごとそうじ



鶴形まるごとそうじ





モリアオガエルの定点観察



伝統のそば活動

• そばの種まき(7月)



伝統のそば活動

- そばの刈り取りと脱穀(10月)



伝統のそば活動

- そば打ち(11月)



そば祭り

全体会場



そば祭り

「産直コーナー」 のスタッフ



そば祭り

「そば食堂」 のスタッフ



そば祭り

鶴の恩返しショップ 「鶴カフェ」の出店



鶴形おもてなし定食

そばづくり



鶴形おもてなし定食

天ぷら



鶴形おもてなし定食

定食の完成です！



鶴形おもてなし定食

**お世話になった
皆さんへ**





ありがとうございました。

コミュニティ・スクール指定後に起こった変化は...

○立ち上げ前



①1年目



②2年目

学校と地域の連携スタイル

○ 情報交換・連絡調整的連携



① 相互補完的連携



② 協働的連携

ボランティアの関係性

○ 下請け的關係(学校が必要なとき)



① win & win の關係(互いに必要なとき)



② win & win & win の關係(三方よし)

子どもたちの学び

○「地域のお世話に...」



①「地域に恩返しを...」



② **「地域とともに...」**

学校・地域の認知度

○ 時々新聞記事に



① 度々新聞・テレビに



② **「特集 鶴形（小）の○○」**

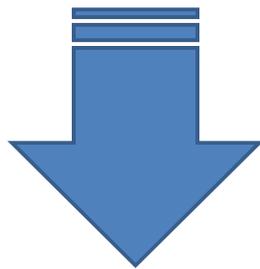
※地域活性化の一助...

コミュニティ・スクールを推進して見えてきたこと...

目指すのは、持続可能な地域社会(学校)

必要なのは、緩やかなネットワーク

そのためには、コーディネートが大事

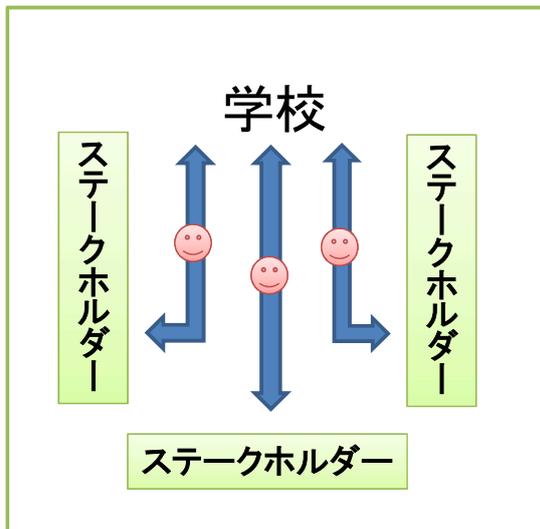


- ① **コミュニティ・スクール**は目的ではない
⇒ 制度であり、ツールの一つ
- ② **コーディネーター**はすべて知らなくてよい
⇒ 「知っている人」とつなぐ方法
を知っていればよい
(学校運営協議会)
- ③ **コミュニティ・スクール**により目指すもの
⇒ 学校改善 + 地域活性化(の一助)
- ④ **コミュニティ・スクール**の学校経営者に求められるもの
⇒ 交流、説明責任、オープンな環境づくり

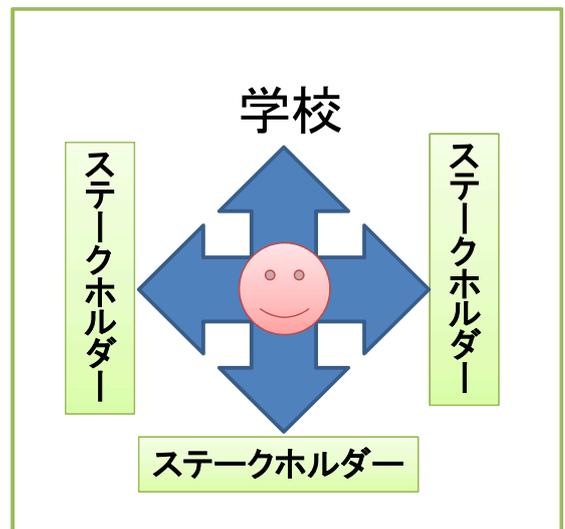
コミュニティ・スクールを支えるネットワークのかたちは...

※ステークホルダーとは利害関係者(学校に関わる全ての人)のこと

※😊はコーディネーター(地域及び統括)



縦方向NW



横方向が加えられたNW

まとめてみると...

持続可能な地域を実現する方法

地域と学校が

① **同じ方向**を向いて

② **協力**して

③ 持続(生き残る)のために**働く**



運命協働体になる！

おわり

御静聴ありがとうございました